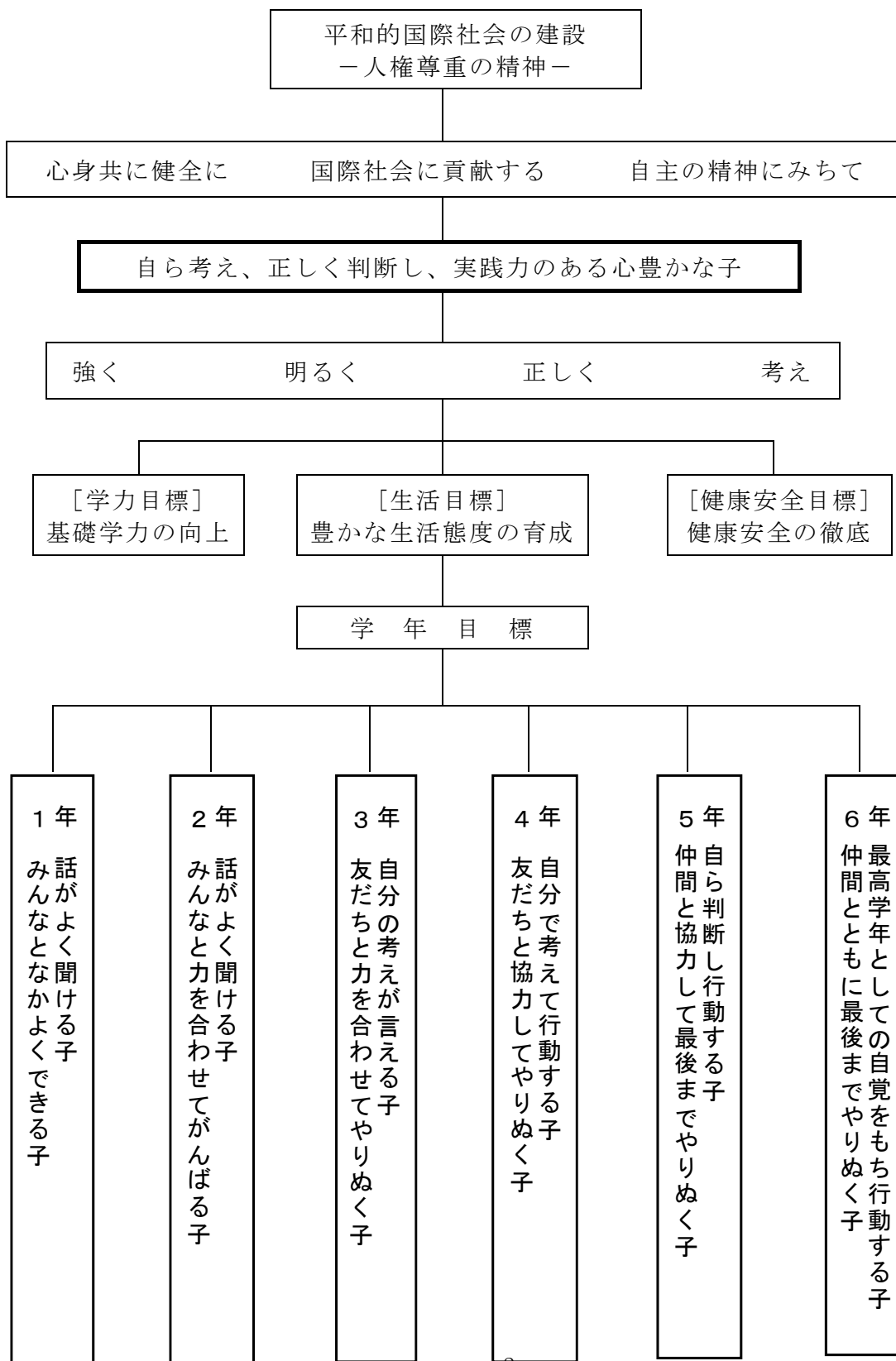


# [ 1 ] 教育目標・学校経営の方針

## 1. 教育目標

『自ら考え、正しく判断し、実践力のある心豊かな子』

自分に自信と誇りを持てるよう自尊感情を育て、豊かな自己実現をめざすと同時に、他者との豊かなつながりを大事にする子どもを育む。



## 2. 学校経営の基本方針

- (1) 学校教育目標を日々の教育活動全般に具現化するよう計画し、児童の生活全面にわたって、一段と充実した望ましい校風づくりに努める。
- (2) 教職員の研修を自主的・計画的に行い、指導力の向上に努め、全教職員の相互信頼と協力によって、明るい生気に満ちた雰囲気を作り、積極的かつ民主的な学校運営を図る。
- (3) 基礎・基本の定着と個に応じた指導方法の工夫改善に重点を置き、一人ひとりの児童に「わかる・できる授業」を展開し、またICTを活用し「ひろがる授業」「つながる授業」を展開する具体的方策の実践に努め、自ら学ぶ学習態度の育成を図る。
- (4) 全ての教育活動を通じて、人間尊重の精神に基づく教育（人権教育・道徳教育）を推進する。  
特に、児童の感性に訴え、生命の大切さや物事の善悪の判断など、人間として基本的な倫理観や規範意識の育成に努める。
- (5) 支援教育については、障がいのある児童一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導方法の工夫・改善に努め、適切な指導及び必要な支援が効果的に行われるよう全校的協力体制をもってあたる。  
また、障がいについての理解を深め、個々の対応へのスキルを高めるとともに、校内指導体制の確立を図る。
- (6) 生徒指導の充実を図るため、基本的行動様式の指導の徹底に努めるとともに、正しい判断力を身につけさせ、健全な生活態度の育成を図る。  
また、いじめ・不登校・生徒指導上の問題行動等については、全教職員が情報を共有し共通理解のもと、カウンセリングマインドをもって児童との心の交流を深め、児童の出すサインや変化を見落とすことなく、未然防止、早期発見・早期対応に努めるとともに、楽しく豊かな人間関係づくりの取り組みを組織的・計画的に進める。
- (7) 健康で安全な生活を送るため、自己管理能力を身につけるための食育・健康・安全・防災教育を積極的に進める。  
特に、学校における児童の安全確保について、危機意識を持って教職員の研修を行い、管理体制の整備に努める。
- (8) たなばた学園において義務教育9年間を見通した小中一貫教育を本格実施する。  
また、児童が小学校生活にスムーズに移行できるよう、保育園・幼稚園・こども園との連携を強める。
- (9) 「キャリア教育」については、児童が現在及び将来の生き方について積極的に考え、生涯にわたって自己実現できる能力や態度の育成を図る。
- (10) 「地域とともにある学校づくり」の視点から地域と一体化した教育活動を進める。

### 3. 本年度の重点目標

- (1) 一人ひとりの児童にとって、居場所のある楽しい学校づくりをする。  
「ともに学び、ともに育つ」ことを基本とし、児童個々の人権を尊重するとともに、より一層の児童理解に努め、違いを認め合う集団づくりを推進する。また、計画的に人権教育にとりくむ。
- (2) 通常の学級に在籍する支援が必要である児童に対し、適切な教育的支援が効果的に行われるよう、支援教育コーディネーターを中心として全校的な校内支援体制の確立を図る。また、通級指導教室の運用を行いながら、保護者への理解啓発にも努める。人権教育と同様に「ともに学び、ともに育つ」ことを基本とし、自尊感情を高め、互いを大切にできる態度を育むインクルーシブ教育の充実を図る。  
また、障がいについての児童の理解を深め、個々のケースに対応できるよう教職員のスキルを高めるための研修を行う。
- (3) 豊かな心を持ち思いやりのある児童の育成をめざし、「特別の教科道徳」の時間はもとより、各教科・総合的な学習の時間・特別活動など、すべての教育活動と関連を図り道徳性の育成に努める。また、教員の道徳の授業力の向上をめざし、研修を深める。
- (4) わかりやすく、楽しいと感じられる魅力ある授業の創造のために、ICT機器やタブレットの活用を行いながら、「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善を図る。また、交野スタディをふまえた「授業における児童のめあての提示方法の工夫」、「自分の意見を持ち、他者とつながる授業づくり」「めあてに即したふりかえり」等を意識して、子どもが生き生きと輝く子ども主体の授業づくりを学校全体で推進する。
- (5) 外国語活動・外国語科の研究に取り組み、ALTと連携しながら、教員が主体となって、児童が楽しく参加できる授業をめざす。また国際理解教育の視点を取り入れ実践を深める。
- (6) 読書習慣を確立するために、ボランティアの協力を得ながら、図書時間の充実を図る。また、言語活用力の向上に努める。
- (7) プログラミング的思考をとり入れた授業の研究・実践に努める。
- (8) たなばた学園で、めざす子ども像を共有し、6部会（授業づくり、ゆめ・ふるさと科、児童会・生徒会、生活指導・生徒指導、人権教育、支援教育）をもとに、9年間を見通した児童、生徒の育成に努める。また、拡大学年會や教科部会をもち、授業交流、合同研修会を行いながら、9年間を見通した授業研究を進め、公開授業を実施する。また、保幼小の交流会を行い、幼保こ小の連携を図る。
- (9) 校内生徒指導体制の充実のため、子ども支援コーディネーターを中心に組織的に生徒指導上の諸課題の解決にあたる。また、スクールカウンセラーなどの専門家や関係諸機関との連携を行う。
- (10) 児童一人ひとりが望ましい食生活の基礎・基本と食習慣を身につけるよう食育指導の充実を図る。
- (11) 教育委員会ネットワーク・システムを活用した交野市内の小・中学校間での事務の連携や校務の効率化・円滑化を図るための研究実践を推進する。
- (12) 個人情報データの適正な取り扱い及び厳正な管理にあたる。
- (13) 防災安全計画に基づき、学校における児童の安全確保を図るとともに、危機対応の管理体制の確立を図る。